



時間の使い方を考え直してみよう！

先月の『月刊羅針盤』では宅習時間調査の結果が掲載されていました。自主的な学習をするための時間の確保がみなさんの学習上の大きな課題です。これは、成績を上げたり、受験・就職で成功を収めたりするのに必要であるためだけではなく、社会人・家庭人になってからも、時間の上手な活用が大切であるためなのです。

時間を上手に活用することは、どうやら今だけではなく昔も人間が抱える大きな問題であったようです。多くの人が時間に関する言葉をたくさん残してきました。次にそれらをいくつか挙げてみました。まず、空所に入る適切な語を考えてみてください。



○時間の使い方の最も（ 1 ）なものが、まずその短さについて苦情を言う。

（ラ・ブリュイエール、フランスのモラリスト）

○（ 2 ）が止まるとき、時間は生き返る。

（ウィリアム・フォークナー、アメリカの作家）

○あらゆる旅は、その速さに比例して（ 3 ）なる。

（ジョン・ラスキン、イギリスの思想家）

○多くのことをなす近道は、一度に（ 4 ）のことだけすること。

（モーツァルト、作曲家）

○あなたが無駄にした今日はどれだけの人が願っても叶わなかった（ 5 ）である。

（ハーバード大学の図書館に書かれている言葉）

それでは答えです。

1：下手，2：時計，3：つまらなく，4：ひとつ，
5：未来

これらの言葉から、みなさんはどのような知恵や教訓を受け取るでしょうか。

大学入試センター試験について知ろう！

去る1月17日（土）・18日（日）に大学入試センター試験（以下センター試験）が実施され、本校の3年生も受験しました。試験後は問題・解答・配点などを各予備校・マスコミが取り上げ、さらに今月初めには各科目の平均点を大学入試センターが発表しました。

このようにしてセンター試験は概況が明らかになり、国公立大学の2次試験などへの足がかりになります。大学や短大へ進学したい人にとっては避けては通れない関門の1つです。そこで、1・2年生のみなさんも、センター試験のことをあらためて確認しましょう。今は受験するつもりではない人も、今後の進路選択次第で受験することがあり得ますので、自分のこととしてセンター試験について知っておきましょう。

①いつ実施される？

毎年1回、1月13日以降の最初の土・日曜日に実施されます。

②誰が受験する？

国公立大学への進学を希望する人全員と私立の大学・短大を受験する人の多くが受験します。

③受験者数は？

ここ最近10年以上、50万人を上回っています。センター試験を利用した入試を実施する私立大学が増えてきているためであると考えられます。

④受験手続は？

9月上旬に配布される『受験案内』を入手します。本校生は学校で取り寄せてもらえます。その中の志願票や検定料の払込書などに必要事項を記入し、検定料¥18,000を払い込みます。10月上旬から中旬に必要書類を大学入試センターに提出します。

⑤解答の仕方は？

すべて選択式の問題で、解答方法はマークシートの番号を塗りつぶす形式です。50万人以上もの受験生の採点を短期間で行うためです。

⑥試験科目・試験時間・配点は？

本校生が受験するものは以下の通りです。

教科	科目	試験時間・配点
国語	「国語（現代文・古文・漢文）」	80分・200点
地歴	「世界史B」	60分・100点
	「日本史B」	60分・100点

公民	「倫理・政治・経済」	60分・100点
数学	「数学①(数Ⅰ・A)」	60分・100点
	「数学②(数Ⅱ・B)」	60分・100点
理科	「化学基礎」 「生物基礎」	合わせて60分・ 100点
	「物理」	60分・100点
	「化学」	60分・100点
	「生物」	60分・100点
外国語	「英語筆記」	80分・200点
	「英語リスニング」	30分・50点

文系であれば国・「世日から1つ」・公・数①・数②・化基・生基・英筆・英リス, 理系であれば国・「世日から1つ」・数①・数②・化・「物生から1つ」・英筆・英リスの計950点分を解答します。

⑦平均点は？

全ての科目で平均点が満点の6割程度になるように作成されていると言われていています。今年度のセンター試験の平均点は以下の通りでした。

科目	平均点
「国語」	119.22
「世界史B」	65.64
「日本史B」	62.01
「倫理・政治・経済」	59.57
「数学①(数Ⅰ・A)」	61.27
「数学②(数Ⅱ・B)」	39.31
「化学基礎」	35.30
「生物基礎」	26.66
「物理」	64.31
「化学」	62.50
「生物」	54.99
「英語筆記」	116.17
「英語リスニング」	35.39

⑧対策はどうすればいい？

みなさんの教科担任の先生方がご指導して下さいます。さらに、本番で最高の力を発揮するためには、自分の弱点を自分で発見して克服する姿勢と行動力が必要です。右に各科目の攻略のポイントを示します。参考にしてください。



「国語」	普段からさまざまな文章を読む。知識事項の活用を練習する。文章構成・表現技法を確認する習慣を。
「世界史B」	苦手な時代や分野を克服。用語は他の出来事との関連を理解する。図説・地図の活用も。
「日本史B」	出来事を断片的にではなく、因果や変化を含めて理解する。戦後史が大切。史資料・地図を理解も。
「倫理・政治・経済」	基本用語の理解と、関連事項の確認を。思考力を要する問題の演習を積み重ねる。
「数学①」	基本事項の理解を徹底し、苦手をなくす。場合分け・図形の知識を身に付ける。
「数学②」	苦手をなくす。計算の工夫や解法の効率化を練習する。与えられた誘導の意図を考える。
「化学基礎」	基本事項を理解し、徹底した問題演習で、本質を見抜く力と計算力を身に付ける。
「生物基礎」	問題・選択肢・図・グラフを丁寧に読み取る練習を。苦手な分野を作らない。
「物理」	苦手分野を克服する。式・表・グラフが示す内容を考察する。問題演習で知識の定着を。
「化学」	教科書の基本事項を漏れなく。正確な計算力を。実験に必要な思考力を付け、身近な物質への関心も。
「生物」	正確な知識を全ての分野で。苦手を作らない。データの処理・文章読解を時間内でこなす練習を。
「英語筆記」	ジャンルや目的に応じた読み方を徹底練習。英文全体の構成・主張を考える習慣をつける。
「英語リスニング」	数値や5W1Hのような細部と英文の概要の両方を、英語の音から理解する練習を。

(『2015年度大学入試センター試験【本試験速報】(進研模試編集部)をもとに作成)